

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	調整池維持管理事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課				
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	池田 輝昭				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	調整池周辺及び下流に住む市民	意図	調整池排水施設の適切な保守、管理を行い、機能を確保する。
事業内容	草刈、清掃、及び排水施設の保守点検を実施し、良好な環境を保全するものである。			
事業開始から現在までの状況変化	近年は、ゲリラ豪雨が多発していることから、調整池の稼働も増えている。平成30年度に鯉ヶ崎調整池の帰属を受けた。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	苦情の件数	4	6	1	件	↓↓↓
②	電気料	12	12	12	円	→→	全電気料÷全調整池容量
③	草刈料	22	23	20	円	→→	全草刈料÷全調整池容量
④	管理面積	102,525	102,525	102,525	m <sup>2</sup>	→→	
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	施設の老朽化が見られる。 土地区画整理事業及び開発事業に係る開発調整池の施設引継により、維持管理費の増加が見られる。		

  

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	29,901,734	28,683,039	25,499,811
事業費(b)(円)	28,978,734	27,773,839	24,601,511
うち一般財源	28,978,734	27,773,839	24,601,511
職員給与と費(c)(円)	923,000	909,200	898,300
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10
人役・再任用(人)	0.10	0.10	0.10
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・施設の保守、維持管理を行い、適切に運用する。	③取組における課題(Check)	・施設の老朽化が進み、適切な維持管理が必要になる。 ・新たな調整池の引継により、維持管理費が増加する。
②H30に実施した取組(Do)	・保守点検を適切に行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・計画的な維持管理計画を策定する。